

入院診療を受けられた患者さんへ

「院内急変対応システムの有効性における臨床研究」 への協力をお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2022 年 6 月 10 日～2027 年 5 月 31 日の間に、当科において急変された患者さん

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 6 月 30 日

研究目的・利用方法：

入院患者さんでは急性疾患を併発もしくは状態悪化により予期せぬ事態を来することがあります。早期介入で患者さんを守るために RRS (Rapid Response System) の導入が我が国でも進んでおり、当院でも RRS 導入から 10 年が経過しています。RRS 導入によって当院での予期せぬ ICU 入室、心停止、死亡症例が減少していると予想されることから、さらなる医療安全に貢献となることを目的としています。

研究に用いる試料・情報の項目：

- RRS 要請書 (RRS 要請となった情報：発生日、発生時間、コール時刻、RRS 対応時刻、発生場所、コール理由、発生状況、対応・指示、背景、評価、JCS、HR、BP、RR、SPO2、転帰、コール者職種、対応終了時刻)
- 年齢、性別、入院診療科名、入院日、退院日
血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数
生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、Na、K、Cl、尿検査：蛋白、糖

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 医療安全管理室

氏名：熊田恵介

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 医療安全管理室

電話番号：058-230-6448 氏名：熊田恵介

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp